



エミールだより

第491号

2016年9月1日 発行

9月

エミール保育園
園長 江口 浩三郎

「選ぶ力を身につける」

毎日35度以上という暑さで雨も降らなかった8月でしたが、園庭で遊ぶ子どもたちの、元気な声に押されるようにして乗り越えることができました。またこの夏をにぎあわせてくれたリオオリンピックですが、厳しい練習に耐え、立派な成果を残してくれた若い選手には、心から感動させられました。こんな若者の成長の基盤をつくる私たちの仕事に、強い責任と大きな誇りをもって取り組まなければならないと、つくづく感じているこの頃です。

ところで選挙権が18歳からとなり、先日の参議院選挙から実施されました。18歳の若者の政治参加については私も賛成ですが、そのための精神的準備というか、そのための教育的配慮が充分に行われてきたかについては、いささか疑問をもっています。

民主的な投票行為というのは、あくまでも自分の自由意思に基づくもので、他人の意思に依存するものではありません。複数の候補者のなかから、誰が自分にとってベストか、又はベターかを選ぶことです。この自分で選ぶという行為は、なにも18歳になったからといって誰にも自在にできるわけではなく、長い時間をかけたトレーニングの結果身につくものです。日本の文部科学省もそのことの重要性を示すために「自分で考え、自分で判断して行動する人間を育てる」とか、「自分で課題をみつけ解決していく」ことを目標として挙げていますが、未だその成果が出ているようには見えません。

決して自画自賛するわけではありませんが、モンテッソーリ教育の現場は自分で選ぶことの連続です。これは、どの子どもにも生まれつき備わっている、「自発的成長発達能力」を尊重する結果の教育現象で、子どもたちも当然のこととして受け止めています。

自己選択が許される環境で過ごす子どもは、選ぶ対象をよく観察し理解するようになります。知性が磨かれ計画を立てることを好み、因果関係を理解することで、将来を予見する力も身につけてきます。私たちはこんな子どもを「自分の行動の主人公」と呼んでいます。幼い頃積み重ねたこのトレーニングの効果は、その後の大切な時期に必ず表れてくるはずで。

自分たちの代弁者を選ぶ選挙は、身近な生活に影響を及ぼすと同時に、日本という国の将来に大きくかかわってきます。まさに「主権者」となる18歳の若者が、自信を持ってその権利を行使できるように、私たちもしっかりとした目的意識を持って、毎日の保育を進めていきたいと考えています。
(園長より)

★★★ 運動会のご案内 ★★★

第45回運動会を下記の日程で開催します。ご家族おそろいでおいでください。

【日 時】9月24日(土) 9:00集合 9:10開始 14:30終了予定

【会 場】有田小学校校庭 (雨天の場合は有田小学校体育館)

【その他】・光組は自由参加です

・乳児は11:00以降は自由参加です *詳細は裏面に掲載しています。

*くわしいご案内は後日配布いたします



9月の行事予定

1	木	8月誕生会
2	金	父母の会役員会
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	ふわふわルーム ペアレンツくらす
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	敬老の日
20	火	運動会総練習
21	水	
22	木	秋分の日
23	金	
24	土	運動会
25	日	
26	月	9月誕生会
27	火	避難消火訓練
28	水	のばらコンサート
29	木	
30	金	

体育教室 5歳児

5日(月)・12日(月)

21日(水)・26日(月)

絵画指導はありません